NPO法人ときわ会
藍ちゃんの家新聞　第一一二号

秋晴れの日

第一藍ちゃんの家では、歩いて外の自然に触れていただく為に屋外歩行訓練に出かけます。過日は、近くにある伊勢市立図書館まで、一人一人のペースに合わせ楽しみながら行きました。

初めて図書館を利用される方も多く、気に入った料理・すもう・旅などの趣味の雑誌や書物に、時間を忘れ集中しました。その雰囲気に、学生時代を懐かしむ方もありました。

昼食の時間は、「いつの間にか、残さずに食べれた。」「いつもより美味しかった。」と、自然と食事もすすみました。

図書館など目的地まで歩く達成感、自然に触れること、書物に触れることを楽しんでいただきました。今後も意欲的にお元気に過ごしていただけるお手伝いをしていきます。

花歳時記

秋を代表する花と言えば菊。皇室の紋章でもあり、日本にとってはいにしえから大切な花となっています。生命力が強く花の命が長いことから、延命長寿の願いが託されています。

お誕生日を迎える方々紹介

高尾　きみ様（一日）
「人生は努力することにより楽しい。」

岩井　利子様（一日）
「藍ちゃんの家」へ来るのが楽しみです。

高倉　昌子様（二日）
おかげさまで八十六まできました。ありがとうございます。

中村　康彦様（五日）
妻に感謝です。

伊東　幸子様（十日）
みなさんとの出会いができて、大変嬉しいです。

坂本　みやの様（十九日）
年をとるのは早いもの、誕生日が迎えられて皆様といろいろお話が出来て、嬉しいです。

松田　あき様（十九日）
これからも元気に過ごしたいです。

♪五七五のリズムに乗って～さくら便り～

皆さん、鉛筆を握って句の世界へ。音楽療法と同じくして、季節の実感、見当識療法としても効果があり、回想へも繋がって行っています。

♪赤とんぼ空高く飛び去りぬ　九十四才

発端は季題を一つ宿題に「お母さん、頑張って作ってきたね。」ということからでした。見送りの笑顔の息子さんに「あー、約束しなきゃよかった。」とつぶやきも。でも、車窓の秋の田園風景は、心を揺さぶります。少し停車して風景を楽しむ事もあります。

♪彼岸花ディへ通いて友多き　八十四才

「絵よりもどちらかと言えば、書の方が好きなの。」と遠慮がちに意欲を言葉にされました。熱中出来ることで、精神的な安定を図ることが出来てみえます。

♪まんじゅしゃげ昔のことは忘れけり　九十三才

最近ご利用された方は、「俳句？昔のことは忘れた。」この言葉から生まれました。